

# 岩手県まちづくり実行委員会 活動報告

報告日 18年 2月13日(月)

報告者 労組名 川徳労働組合 氏名 山崎 直人

## 開催日

18年 2月1日(水) 3日(金)

## 開催場所

盛岡市中心部(3会場)

参加者 川徳労働組合 山崎直人(専従)・吉田清純(専従)・田中紀香(執行委員)・  
村上貴亮(執行委員)・滝村 優(組合員)  
マイヤ労働組合 松田克哉(書記長)

## 内容

### 「もりおか雪あかり2006」ボランティア参加

このイベントは、盛岡市および市商工会が中心となり、冬期間の観光振興として昨年からはスタートしたものです。冬のイベントが乏しい盛岡(特に市街地)にとっては、街を少しでも潤わせるため、大切なイベントであると理解し、今回街づくり実行委員が中心となりボランティア参加いたしました。

イベント内容・・・2月2(木)～4日(土) 17:30分～20:30分

盛岡市中心部3会場(岩手公園・中津川河川敷・プラザおでって広場)に雪像・雪のレリーフ・氷の彫刻を制作し、その周り3会場を繋ぐ道をスノーキャンドルで照らします。

今年のテーマ「どんぐりと山猫(宮沢賢治)」



(スノーキャンドルのストック)



2月1日(水) イベント開始日前日、吹雪(-2C)

の中、岩手公園会場のスノーキャンドルを制作しました。気温が低くパウダースノーの為、水分が少なく、すぐに形が崩れてしまい予定数量に達するまでかなりの時間を要しました。

2月3日(金) イベント2日目、(-6C)の中、岩手公園会場のスノーキャンドル点火および会場の整理・案内係としてPM4:30～8:30分の終了まで活動しました。

まちづくり実行員会

(事前打ち合わせの様子)





今回の目玉「氷の盛岡城」高さ4メートル

「山猫」と「一郎」の雪像（注文の多い料理店より）

### まとめ・感想

今回、参加したことによって行政、商工会、他団体とのつながりが持てたことが大きかったです。様々な話を聞く中で、まだまだ地域住民の理解が足りないように思えました。上記写真「スノーキャンドルのストック」は、開催中に気温や蠟燭の炎によって痛む理由の他に、実は心無い人達に夜中に破壊される為、補充用に必要との事でありました。昨年、多くのスノーキャンドルとメインの彫刻が壊され慌てて作り直したという苦労話も聞きました。今回のボランティア参加要請は、前回参加者への呼びかけ、新聞・ホームページ等で行ったそうですが、集まりが悪く最終的に市内の主要企業へ商工会を通じてお願いをしたそうです。その話を聞きつけて私たちも参加した訳ですが、参加者を見ると「自らの意思」での参加者が少ないため、やる気の部分で温度差を感じるとともに、自分達で企画した場合に人を導く難しさを改めて気付かされました。また、労働組合団体としては初の参加でした。実行委員の方々にも、私たちの「まちづくり」に対する姿勢を伝え、今後も様々な情報を発信してくれるそうですので、実行委員会としても更に勉強と検討が必要になりそうです。最後に・・・JSDの皆様、自然と町並みが調和した盛岡にも観光でお越しくださいませ。まちづくり実行委員がご案内いたします。

活動終了後すみやかにEメールにて下記まで送付をお願いいたします

作成した資料があれば報告書に添付してください

送付先 政策局 向圍（むこうぞの） Eメール [mukozono@jsd-union.org](mailto:mukozono@jsd-union.org)